

講義名	児童心理学			授業形態	
担当教員	権藤 真織	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

近年の生涯発達の見方から、我々は生まれてから死ぬまで、生涯にわたって発達 変化する。また、人生 100 年！ということばもあなたがただのお題目ではなく、100 歳をこえた高齢者が 8 万人に達した。長寿者の研究から、豊かな高齢期を過ごすためには、子どもの頃の経験や環境の影響も少なくないとの報告もある。この長きにわたる生涯において、豊かにしあわせに生きていくためにも、子ども時代を豊かに過ごすこと、しあわせに暮らせる環境を整えることは重要な課題であるといえる。児童期の子どもの発達の特徴、現状と課題について考察を深める。

到達目標

「発達」および発達を取り巻く関連の概念を理解する
「学習」および学習を取り巻く関連の概念を理解する
生涯発達における「児童期」の意義を理解する
心理学的知見を活用して、児童期の課題や諸問題に寄与するアイデアを考察する

提出課題

授業で活用するワークシートやレスポで、自分の学びについてコメントを提出する。
みんなからのコメントは、クラスでシェアして、クラスの意見からも学び合う。
授業内で取り上げたトピックに関連するテーマを各自設定して、3 分間のプレゼンテーションを行う(動画を作成する)。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

提出物は、内容確認後、授業内で返却する。
また、学生の学習内容については、授業時にクラス全体にコメントする。

評価の基準

授業内課題 30%
中間レポート(プレゼン動画) 35%
最終課題/試験 35%

履修にあたっての注意・助言他

今までのあなた自身の学びの成果や成長を振り返り、この授業で何を学びたいか、新しく何を身につけられたか、自己評価して、次ににつなげてほしいなと思っています。
授業では、児童期を取り扱うので、あなた自身の児童期についても思い起こしながら学びます。グループワークでは、子ども時代の経験など個人的なことにも触れることもあるかと思いますが、仲間同士を待たずよく語り合えればと思いますので、自分で話してもよいと思うことを選んで、話したくないなと思うことは話す必要はありません。一人ひとり他者とシェアできる事情や時間、程度が異なりますので、それぞれできる範囲で語り合います。

教科書

参考図書

その他

テキストは使用しないが、ワークシートを活用するので、A4プリントをファイリングできるこの科目だけのファイルを用意してください。その他、資料等配信するので、活用してください。
ラーニングポートフォリオを作成して、それをあなたのオリジナルテキストにしてください。
ワークシートは授業時に配布します。

授業計画

- オリエンテーション：このクラスの学び方-私たちの学びの成果とこれから-
- 自己理解にチャレンジ！：2つの心理学-心理学的人間理解とは？おさらい-
- 心理学と児童心理学：研究ってなあに？子ども理解の方法
- 発達ってなあに？：私たちの暮らしの中の発達と心理学
- 児童期の暮らしと発達：発達課題
- 学習ってなあに？：私たちの暮らしの中の学習と心理学
- 児童期の暮らしと学習：基本的な生活習慣と学習習慣
- 演習：学習のプロセスを体験しよう-上手に学習するには？-
- 発達のつまづきと学習のつまづき-発達障がい・学習障害-
- 発達支援と学習支援-さまざまな支援と応用行動分析からの支援-
- ポスターセッション・動画発表の準備：テーマ検討
- ポスターセッション・動画発表の準備：作成
- ポスターセッション・プレゼンテーション動画の配信
- ポスターセッション・動画発表の振り返り
- まとめ：心理学的に児童を理解するってどういうこと？

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> A: PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> I: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> W: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> E: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	<input type="radio"/> C: 実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> K: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

ロールプレイ演習・事例検討

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

各回の授業に関連するキーワードやトピックを紹介するので、そのことについて調べたり、自分のアイデアをまとめておく(学習時間：2時間程度)。
授業後は、講義で得た新しい知見や仲間との語り合いからの自分の学びの成果を振り返り、まとめておく(学習時間：2時間程度)。
予習・復習は、だいたい合計4時間程度が目安。次の授業までの1週間の期間を有効に活用してください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

DP1: 目標の から を達成することで、共通DPの第一項目に貢献できる。
DP2: 目標の および を達成することで、共通DPの第二項目に貢献できる。
DP3: 目標の および を達成することで、心理コースのDP第一項目に貢献できる。
DP4: 目標の および を達成することで、心理コースのDP第二項目に貢献できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面授業では、授業に関連するテーマについて、アンケート形式のワークでコメントを行い、それをクラスでシェアする。レスポを使用するので、各自ノートPCかスマホを持参するようお願いいたします。

実務経験の有無及び活用

保育所勤務：児童期の前段階である乳幼児の発達について、その仕組みや事例を紹介する。
障害児保育：児童期の発達のおまづきやその支援について紹介する。

備考

授業の初回時に、今後の授業スケジュール(グループワークや演習、中間課題の提出日やプレゼンテーションの日程など決めたいと考えています。履修して単位の取得を確実にしたい学生は、なるべく初回の授業に出席してください。
授業の出欠については、原則、大学の方針に沿って確認いたします。